

隊員で総力をあげて

当日は、台風が来るということで警戒はしてました。夕方十五時くらいから時間を追うごとに、地域住民の方から、沢があふれたとか、土囊くさいとか、そんな通報が入ってきました。だんだん夜にかけて、それが救助要請に変わってきたのを覚えています。夜に入る前に非常事態ということで、休みの隊員も含め全職員で対応に当たりました。二十一時頃から一気に救助事案が増えて十数件近くありまして、それを隊員三、四人くらいで手分けして活動しました。自分も署に帰ってきたのは朝方でした。

今まで浸水したことがない地域は、普段はそこに水が来たことがないんで、いきなり来て逃げられなくなってしまう方が多く、ひざ下くらいの深さまで増水し、歩けなくなってしまうって助けてくださいというのが多かったですね。怪我とかではなく、家から出れなくなっただけというのが多かったです。家の周りが若干低くなっている土地だと、家から出られない。でも道路まで行くと歩ける、というような状態のような救助要請も多かったです。

想定外の被害

写真のこの車は被災してこの上に逃げ遅れた方が二名いた車両です。もう一枚の写真は奥にトラックがありますがこれは、店と国道一一八号線の間が駐車場で、幅二、三十メートルが濁流になってまして、トラックの下に写っている電信柱に車が引っかかってその上に逃げ遅れた方が二名いたという状況でした。消防本部ではこの時間多数の救助事案が発生し、隊員がなかなか現場に向かえなかったという状況がありました。また、出場した隊員も二、三名での活動で、濁流のため対応できなかつたので、救助に時間を要しました。ここが濁流になるのは想定できなかつたので、救助に大変苦労した事は思い出に残っています。人も流されるような水の勢いがあり、道路のアスファルトがはがれるような場所もありました。



水の力で倒れたフェンス



水に流された車の上に救助を待つ人がいた